

FLORÉ21 ホットニュース

会長 小池潔のあれこれコラム

「JAXA はやぶさ2」

小惑星「リュウグウ」から「はやぶさ2」が地球に持ち帰った砂の分析結果が明らかになってきたことを10日の「朝日新聞」が報じた。46億年前にたんぱく質の材料で生命の源につながるアミノ酸が豊富にあったとする論文が科学誌で明らかにされた。

宇宙開発はアメリカとロシアが先駆けたが、軍事が主となり、成果は各国が公にしなかった。のちに宇宙をビジネスとし独自の開発も行われた。現在でもアメリカ、ロシアを中心に巨額の予算をつぎ込んでいる。

日本の宇宙航空研究開発機構は、成果は世界中の必要とされるところへ発信している。「はやぶさ2」が今回持ち帰った中には23種類アミノ酸が確認されグルタミン酸やコラーゲンの材料になるグルタミンまであった。まさに人がこの地球に生まれたことが明らかにされる。

日本は世界中の研究者に必要な資料を渡すことが出来、その結果宇宙探査は国際協力が主流となりつつあると言われている。もちろん小惑星探査は日本がそのトップとして引っ張っていくのでしょう。

JAXA（宇宙航空研究開発機構）は世界が宇宙開発に乗り出し月や火星に注目した中で、日本の研究者は今の小惑星に目を付け、予算がないなか、40年かけて届いた成果です。

そして世界へその成果を供給する。

日本にもこのような組織があることを誇りに思います。

OFLの部屋

先週は大田店、本店支店ともに今期最後の芍薬フェアでした。



たくさんの種類が出荷される時期は過ぎて、後半の芍薬には一瞬ではありますが魅力的な品種の出荷が多いような気がします。



左上から 「ビロードクィーン」、
「アルベルトクラウト」、
「ペチコートフローレンス」、
左下から 「キリンマル」、
「グリーンハイロー」、
「ゴールデンラズベリーローズ」。

つくづく芍薬っていい花だなあと感じました

芍薬が終わると夏が迫ってくると感じます。



夏の暑くなる前一瞬入荷のある爽やかな花です。

左からの 「スノープリンセス(キンセンカ)」、
「アメージンググレース(ポピー)」、
「ヒイラギズイナ」。

爽やかすぎた。

ではまた大田店小林

世田谷店おすすめ

『季節のスマッジスティック作り』のワークショップに参加しました。

場所は横浜市の磯子区、世界各地のてしごとを集めたお店メルカジーニョさん。マトリョーシカ、ニャンドウティ、モロッコかご、キャンドル&リースなどのワークショップを行っています。



ホリーキャンドルさんのワークショップに参加。
聞きなれない『スマッジスティック』とは？

ハーブや香木、ドライフラワーを集めて紐で巻き付けて棒状にしたものです。

もともとは古くからネイティブアメリカンの間で燻して邪気を清める儀式に使用されてきました。

現在ではインテリアやアロマの代わりに空気を浄化し幸運を呼び寄せるアイテムとして海外では引越のプレゼントとしてポピュラーなものになっているそうです。

ネイティブアメリカンは自然界の四大要素、火、地、水、風をスマッジングにも当てはめています。

火はセージを焚くときに、地はセージがなる大地、水は海に住むアバロンシェル、風はセージを焚いたときに出る煙を扇ぐ風です。



ホワイットセージ。原産地はアメリカのカリフォルニア。

自然と共存していたネイティブアメリカンが儀式にホワイットセージを使用していた。
スマッジング(浄化) するためするために火をつけ燻し汚れを払ったといわれています。

アバロンシェル (あわび貝)。精霊が宿っていると信じて、この貝を大切にし、浄化の儀式をする際の受け皿として使ったとされます。





お花はドライフラワーになりやすいバラ、ヘリクリサム、チースなど。
ハーブは香りが強いローズマリーとスペアミントなどを今回は使いました。
右側の木はパロサントと言います。長さが10cm位、南米ペルーに自生する香木。
聖なる樹と呼ばれています。火をつけ立ち昇る煙は「場を清め悪い精霊を追い払い良
い精霊を呼び寄せる」と言われています。



この材料で3~4個作れるそうです。
スティックという事なので立てに重ねて紐で
巻いていきます。
ドライにすると細くなってしまうので切り離
した茎などを芯にするとよいそうです。
パロサントはスティックを作ってから添える
感じだったり、芯として使ってみたり決まり
は無いようです。
ただ、花の上から紐を巻き付けるのに抵抗が
あるのと、普段のように作ってしまったので
花の部分と茎の部分に分かれてしまいました。

私は4個のスマッジスティックを作れ
ました。
パロサントは見えないのですが紐で巻
き上げた裏側に巻き付けてあります。





巻き上げる紐の色合いによっても個性が出てインテリアとしても楽しめますね。これに良い運気を呼び込むクリスタルや天然石を巻いても良いそうです。

インターネットなどで検索すると出てくる数もまだまだ少なく知られていないようです。これを機に季節ごとに作ってみるのも楽しいなあと思いました。

ちなみに火をつけるときはスティックからプロサントを外して使います。スティックに火が付き煙が出たら火を消して煙で燻すような感じで使います。パロサントも同様火が付いたら火を消して煙を使います。パロサントは約1～2分で火だねが消えます。一度の火付けで甘い香りが十分に香るので1回で十分に楽しめます。1回で1本使い切ろうとはせずに繰り返し使うと良いようです。



セージのキャンドルも作る予定でしたが時間が無く先生に作っていただきました。

とても良い香りです。

最後に、一緒に参加した方の作品も含めて、キャンドルに火をつけて写真撮影。



雨の1日でしたが、お教室の中はパロサントの甘い香りと、セージなどのキャンドルの香りに癒される時間でした。

世田谷店 角田

仕入れの素★葛西店

先日店頭フェアの花材サーチも含めて以前から訪ねたみたいと考えていたか「フラワーポケット市ノ羽さん」に行ってきました

長野県伊那市にあり高地で、都心部からくると心地よい気温が迎えてくれました。

アルストロメリアは夏の暑さに弱いため 標高900mの地が栽培に適しています。
また化学肥料を使わないオリジナルな堆肥を作って、土作りをし日持ちの良いアルストロメリアを生産されています。



自家製有機堆肥



30に近い品種を生産していて特に市ノ羽さんの花は、花色が鮮やかなだけではなく茎もしっかりとしていて葉もツヤツヤと輝いています。

出荷を待つアルストロメリア



市ノ羽さん⇒



フラワーポケット市ノ羽さんでは、アルストロメリア新品種《アストロノバ》の生産をしています。（国内生産は2箇所）



今までのアルストロメリアは1本の茎から多数の一重咲きの花が集まって咲くのに対してアストロノバは、1本の茎に八重咲きで1輪の花を咲かせるのが特徴です。

市ノ羽さんも試行錯誤の中で栽培していますが、市場への流通の手応えは感じているとお話いただきました。

現在 7 品目

天体の意味の「アストロ」と新しい星を意味する「ノバ」をあわせて《アストロノバ》です。





7品種全て星座の星の名前がついています



カストル
ふたご座の星



メラク
おおくま座の星



リゲル
オリオン座の星



ゲンマ
かんむり座の星



フルド
おおいぬ座の星



クルサ
エルダヌス座の星

